

# 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月12日

上場会社名 中日本興業株式会社  
 コード番号 9643 URL <http://www.nnk-cinema.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理部担当  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 名

(氏名) 服部 清純  
 (氏名) 三田 則男

TEL 052-551-0274

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	949	13.3	△14	—	△17	—	△53	—
21年3月期第1四半期	837	—	△2	—	0	—	0	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第1四半期	△99.64	—
21年3月期第1四半期	0.51	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第1四半期	5,380	3,216	59.8	5,965.00
21年3月期	5,533	3,258	58.9	6,043.55

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 3,216百万円 21年3月期 3,258百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期連結累計期間	2,011	9.3	5	△87.7	0	—	△40	—	△74.19
通期	4,125	9.1	60	—	45	—	△16	—	△29.67

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	540,000株	21年3月期	540,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	836株	21年3月期	811株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	539,182株	21年3月期第1四半期	539,249株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機により大きな影響を受けた景気の急激な悪化に底打ちの兆しが見えてきたものの、企業収益の大幅な減少、雇用情勢の急速な悪化、個人消費の悪化など厳しい経済環境が続いております。

このような経営環境のもとシネマ部門においては、「レッドクリフPart II ー未来への最終決戦ー」「名探偵コナン 漆黒の追跡者」「ROOKIES ー卒業ー」「天使と悪魔」等が好成績を収めたものの、不況による消費マインドの冷え込みに加え、新型インフルエンザの影響もあり、厳しい状況となりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、5億84百万円となり、営業損失は23百万円となりました。

リラクゼーション部門においては、「松竹温泉 天風の湯」「太平温泉 天風の湯」の両店舗共、引き続き地域に密着した施設として営業してまいりましたが、新型インフルエンザの影響もありやや苦戦をいたしました。この結果、売上高は2億24百万円、営業利益は12百万円となりました。

カルチャー部門においては「TSUTAYA ミュージックモール 庄内通り店」が苦戦したことにより、売上高は1億39百万円、営業損失は3百万円となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の売上高は9億49百万円、営業損失は14百万円、経常損失は17百万円となりました。また固定資産臨時償却費と減損損失を計上した結果、第1四半期純損失は53百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は53億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億53百万円の減少となりました。これは主に現預金の減少と有形固定資産の減少によるものであります。

負債合計は21億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億11百万円の減少となりました。これは主に買掛金の減少と長期借入金の減少によるものであります。

純資産合計は32億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円の減少となりました。

当第1四半期連結会計期間末のキャッシュ・フローの状況としては、営業活動によるキャッシュ・フローは9百万円の増加となりました。これは主に減価償却費63百万円及び減損損失47百万円、税金等調整前四半期純損失91百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは5百万円の減少となりました。これは有形固定資産の取得による支出5百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは69百万円の減少となりました。これは主に借入金の返済による支出49百万円及び配当金の支払額16百万円によるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の減少額は66百万円となり、現金及び現金同等物の期末残高は5億29百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月18日に公表いたしました連結業績予想を修正いたしております。

詳細につきましては、本日別途開示する「特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 1. 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

## 2. 税金費用の計算

法人税等の納付税額の算定に関しては、当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	635,800	701,900
受取手形及び売掛金	74,547	86,300
たな卸資産	94,022	95,971
繰延税金資産	18,164	18,164
その他	180,348	148,230
貸倒引当金	△490	△629
流動資産合計	1,002,393	1,049,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,728,201	2,815,409
機械装置及び運搬具(純額)	140,538	146,936
工具、器具及び備品(純額)	197,920	211,939
土地	179,153	179,153
有形固定資産合計	3,245,813	3,353,437
無形固定資産		
のれん	—	20,000
電話加入権	1,147	1,291
ソフトウェア	56,990	61,264
無形固定資産合計	58,138	82,555
投資その他の資産		
投資有価証券	295,457	248,999
差入保証金	702,587	702,845
長期前払費用	3,015	3,545
繰延税金資産	72,608	92,364
投資その他の資産合計	1,073,669	1,047,755
固定資産合計	4,377,621	4,483,748
資産合計	5,380,014	5,533,685

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	272,312	325,652
1年内返済予定の長期借入金	196,192	196,192
リース債務	16,304	16,304
未払金	3,057	1,600
未払法人税等	—	1,102
未払消費税等	—	4,081
未払費用	54,951	58,316
役員賞与引当金	—	6,500
賞与引当金	7,200	14,500
その他	49,853	26,671
流動負債合計	599,871	650,921
固定負債		
長期借入金	1,072,696	1,121,744
リース債務	36,684	40,761
役員退職慰労引当金	90,419	90,839
退職給付引当金	54,105	55,627
受入保証金	310,122	314,220
繰延税金負債	—	953
固定負債合計	1,564,027	1,624,145
負債合計	2,163,899	2,275,066
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	270,000	270,000
資本剰余金	13	13
利益剰余金	2,908,799	2,978,699
自己株式	△7,939	△7,721
株主資本合計	3,170,873	3,240,991
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	45,241	17,627
評価・換算差額等合計	45,241	17,627
純資産合計	3,216,115	3,258,618
負債純資産合計	5,380,014	5,533,685

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	837,705	949,064
売上原価	463,124	483,710
売上総利益	374,581	465,353
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	11,516	17,594
人件費	144,380	160,723
賞与引当金繰入額	7,140	7,200
役員退職慰労引当金繰入額	1,865	1,980
退職給付費用	655	5,741
減価償却費	11,695	39,852
地代家賃	67,597	97,359
水道光熱費	31,352	35,437
修繕費	1,724	889
その他	99,344	113,131
販売費及び一般管理費合計	377,272	479,910
営業損失(△)	△2,690	△14,556
営業外収益		
受取利息	256	10
受取配当金	3,268	2,709
その他	1,993	1,219
営業外収益合計	5,517	3,939
営業外費用		
支払利息	582	5,690
その他	1,561	898
営業外費用合計	2,143	6,589
経常利益又は経常損失(△)	683	△17,206
特別利益		
貸倒引当金戻入額	31	139
特別利益合計	31	139
特別損失		
固定資産臨時償却費	—	26,878
減損損失	—	47,135
特別損失合計	—	74,013
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	714	△91,081
法人税等	441	△37,357
四半期純利益又は四半期純損失(△)	273	△53,724

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	714	△91,081
減価償却費	35,047	63,963
のれん償却額	5,000	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△31	△139
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,000	△6,500
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,160	△7,300
退職給付引当金の増減額(△は減少)	655	△1,522
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,865	△419
受取利息及び受取配当金	△3,524	△2,720
支払利息	—	5,690
固定資産臨時償却費	—	26,878
減損損失	—	47,135
売上債権の増減額(△は増加)	△5,331	11,752
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,158	1,948
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△33,282	△32,311
差入保証金の増減額(△は増加)	—	258
仕入債務の増減額(△は減少)	△38,518	△53,339
未払金の増減額(△は減少)	—	1,457
未払消費税等の増減額(△は減少)	△31,077	△4,081
未払費用の増減額(△は減少)	—	△3,365
その他の流動負債の増減額(△は減少)	56,615	10,793
その他	△8,051	8,819
小計	△29,920	△24,082
利息及び配当金の受取額	3,333	2,720
利息の支払額	—	△5,690
法人税等の支払額	△2,753	36,214
営業活動によるキャッシュ・フロー	△29,340	9,160
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,250	△5,936
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,250	△5,936
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	—	△3,882
借入金の返済による支出	△10,000	△49,048
配当金の支払額	△16,177	△16,175
自己株式の取得による支出	—	△217
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,177	△69,323
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△57,768	△66,099
現金及び現金同等物の期首残高	604,834	595,900
現金及び現金同等物の四半期末残高	547,066	529,800

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	シネマ (千円)	リラクゼーション (千円)	カルチャー (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	434,198	243,037	160,470	837,705	—	837,705
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	48,708	7	261	48,976	(48,976)	—
計	482,906	243,045	160,731	886,682	(48,976)	837,705
営業利益又は営業損失(△)	△ 21,008	22,341	△ 4,024	△ 2,690	—	△ 2,690

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっている。

2. 各事業の主な内容

- (1) シネマ ……映画興行、劇場内売店、富くじの受託販売、不動産賃貸
- (2) リラクゼーション ……飲食店、浴場施設等
- (3) カルチャー ……書籍・映像ソフト・音声ソフト等の販売及び映像ソフト・音声ソフトのレンタル、看板の制作、広告代理店等

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	シネマ (千円)	リラクゼーション (千円)	カルチャー (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	584,449	224,797	139,817	949,064	—	949,064
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	48,660	1	719	49,381	(49,381)	—
計	633,109	224,798	140,536	998,445	(49,381)	949,064
営業利益又は営業損失(△)	△ 23,290	12,452	△ 3,720	△ 14,556	—	△ 14,556

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっている。

2. 各事業の主な内容

- (1) シネマ ……映画興行、劇場内売店、不動産賃貸
- (2) リラクゼーション ……飲食店、浴場施設等
- (3) カルチャー ……書籍・映像ソフト・音声ソフト等の販売及び映像ソフト・音声ソフトのレンタル、看板の制作、広告代理店等

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。